



看護実践・キャリアサポートセンターでは、地域の医療機関からの研修者も多く受入れ、現在までに39人が研修を修了、川崎学園内では10人の研修修了者が活躍している。今後さらに受講へのニーズが高まるものと期待される。

在宅診療において、寝たきりの患者の褥瘡処置を行なう。



集中治療室において、血圧が下がった患者への昇圧剤の量の調整を行なっている。

Specific act practice nurse



川崎医療福祉大学
看護実践・キャリアサポートセンター
山田 佐登美 センター長
Satomi Yamada

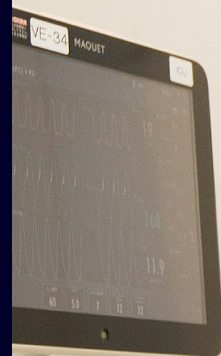
「病院中心の医療から地域・在宅医療へのシフティングが起こっている今、複雑な疾病管理に対応できる看護師、高度なアセスメント能力と発言力を持つ看護師の育成が急務となっています。優れたジェネラリストを目指す看護師の『学び直しの場』として、『看護実践・キャリアサポートセンター』の存在が注目されています。川崎医療福祉大学では、看護師を始めとした医療福祉人の生涯教育の場、看護師のキャリアアップ支援を行なうことを目的として、2016年「看護実践・キャリアサポートセンター」を開校した。

医療最前線

»»vol.64

川崎医科大学総合医療センター 特定行為実践看護師

川崎医科大学総合医療センター
富阪幸子 看護主任
Sachiko Tomisaka



Report!

看護と医学、ふたつの視点を併せ持つ特定行為実践看護師

患者や医師にとって大きな支えとなる特定行為実践看護師

超高齢社会に向けて厚生労働省は在宅医療などの推進を図るため、従来医師が行っていた診療の一部の補助を行なう専門性の高い看護師を養成する「看護師特定行為研修制度」を二〇一五年より新たに始めた。看護師の特定行為とは、手術後の余分な浸出液を胸部や腹部から体外に出すための管の抜去や、管を抜いた後の穴を針で縫合するといった、従来は医師が行なっている診療の一部を行なうもので、従来の看護知識に加え、高度な医学的知識と技能が要求される。川崎医療福祉大学では、特定行為が実施できる看護師等の育成をしている。当学、看護実践・キャリアサポートセンターの山田センター長は、「特定行為実践看護師は、医師の指示にかわるあらかじめ作成した手順書により、患者さんの状態に合わせて必要な行為をタイムリーに提供することが可能です。在宅においても日常的に医療が必要な患者さんに対して、より安心した療養生活を継続するための支援も可能となり、大きく期待される存在です。また、患者さんやご家族が知りたい病状の経過などの情報を、知りたい時に適切に説明できるので、患者さんにとっても頼りになる存在となります。いっぽう、医師の診療の一部を行なうため、医師の業務軽減にもつながります」と話す。

川崎医療福祉大学ならではの強みを生かした独自の人材育成

川崎医療福祉大学の研修を修了した「特定行為実践看護師」は現在三九人で、地域の医療機関で活躍している。当学の研修の特長を山田センター長はこう説明する。「厚生労働省認定の特定行為は三八行為あるが本学では二五行為の研修が可能で、数の多さは全国でも屈指といえます。また、豊富な知識と実績を有する医師・看護師が指導者であり、川崎学園内の二つの大学附属病院での実習など充実した研修体制が強みです。加えて開設当初より地域の医療機関から研修者を受け入れ、生涯学習提供の場として地域へ門戸を開いています」。研修を修了した富阪さんが自らの変化と思いを話してくれた。「研修で得た医学的知識や技能を背景に患者さんの病状に応じた迅速な対応が可能になったと実感しています。また、医師からも大きな信頼が寄せられており、チーム医療における役割を改めて認識しました。今後もチーム医療での橋渡し役となり、患者さんへのよりよい医療の提供に取り組みたいです」。看護と医学に精通した専門性の高い看護師の育成が期待される。

川崎医科大学総合医療センター
岡山市北区中山1-2-1 TEL:0862252111
https://gk.wakai.ac.jp
川崎医療福祉大学
岡山県倉敷市松島2-8-1 TEL:0864621111
https://w.kawasaki-m.ac.jp